

《Untitled(Squashed Ball)》2022 wood, rubber ball サイズ可変

酒々井千里個展

むだな抵抗

2024年6月28日(金) – 7月27日(土)

出展作家: 酒々井千里

この度CASHIでは、6月28日(金)から7月27日(土)まで、酒々井千里(すずい・せんり)個展「むだな抵抗」を開催いたします。

酒々井は1998年岐阜県生まれの作家で、東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画研究室に在籍しています。令和3年度の東京藝術大学卒業作品展では、通常なら卒業制作作品となるであろう大作の絵画を、アトリエの壁面を模した白い大きな簡易壁で覆い隠した、インスタレーション《イタダキ》を展示し、「サロン・ド・プランタン賞」を受賞しました。

彼女の作品たちは、常に抵抗を試みていると酒々井は言います。

しかし、その抵抗はデモ活動のような能動的なものではなく、作品が持ってしまった意味や個性を、白壁風のキューブや板で隠したり、押し込めたり、挟み込んだりすることで、まるで人目を避けるかのように表現されています。

彼女と、彼女の作品たちが試みるゆるやかな抵抗を、この機会に是非ご高覧賜りたく、ここにご案内申し上げます。

作家ステートメント

人前に現れるニュートラルを装った物体。それが視界の正面に大きく現れる。何かを遮り、押しながら。視界の端に、かすかに何かが見えてくる。ただ、まあ、見えにくい。

遮られたり圧されたりするものはそうなることを望んだのだろうか。望んでいるのだろうか。もし遮る物体がなくなったらどうなるのだろうか。どう見えるのだろうか。どう、見えてしまうのだろうか。

「むだな抵抗」。この言葉はこの展示の初めのミーティングの時にCASHIの松島さんから発せられた。この言葉について考えてみる。

まずは抵抗について。抵抗をイメージするとき、同時に圧もイメージされる。より小さな力がより大きな力に反発するとき「抵抗」が現れる。ではその「抵抗」とは、しているのか、させられているのか。主体はどこにあるのだろうか。

能動的に「抵抗する」。
受動的に「抵抗する」。
能動的に「抵抗しない」。
受動的に「抵抗しない」。

そしてただの「抵抗」ではなく、「むだな」という言葉で修飾される。この意味とは何だろう。このニュアンスとは何だろう。「むだな」という言葉にはどこか否定的な意味合いがある。それからここでは、たぶん、少し、自虐するような意味合いが使われているのだろう。

例えば絵を描くと何かしらの独自性、オリジナリティが生まれる。自分はいつもその独自性に対して多かれ少なかれ不安を感じてしまう。その不安が過度に大きくなると、自分自身の作品を否定したくなるときがある。それゆえニュートラルな(例え、仮でもいいから)物体で絵の表面を隠す。当然のことだが、絵の前面に不透明な物体を配置し、後ろの部分を隠してしまえば、その部分は見えなくなる。表面を隠せば、正面からは見えなくなる。

しかし、そうしてニュートラルの仮面を手に入れた絵は、本来の独自性を薄めることには成功するかもしれないが、同時に別の何かに変容してしまう。仮のニュートラルの仮面が妙に目立ち、不自然な存在感を持ってしまう。

否む。

視線を阻む。圧。

迂回するように見る。なりそこなった光景。

無駄、むだ。むだな、抵抗。

酒々井 千里

1998 岐阜県生まれ

2022 東京藝術大学 美術学部絵画科油画専攻卒業

2022-現在 東京藝術大学大学院 美術研究科絵画専攻 油画第二研究室在籍

展示

2024 「星のごみ箱」KYOK art studio-gallery、東京

2023 「藝祭2023」東京藝術大学、東京

「油画第2・第5研究室による地域リサーチ報告展”まちの経緯”」

2022 「YAU STUDIO 滞在報告展」有楽町ビル、東京

「油画第2研究室展 観測」東京藝術大学 絵画棟Yuga Gallery、東京

「第70回東京藝術大学卒業・修了作品展」東京都美術館、大学美術館、大学構内、東京「東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻4年卒業制作展学内展"vibration"」東京藝術大学 絵画棟、東京

2021 「ストレンジャーによろしく」金沢アートグミほか、石川

「油画学部3年進級展示"Remix"」3331 アーツ千代田、東京

2020 「沈黙」目黒区美術館区民ギャラリー、東京

2019 「油画学部2年有志進級展示"/"」東京藝術大学 絵画棟、東京

「分岐展」カフェ・ド・ギャラリー アダチ、岐阜「藝祭2019」東京藝術大学、東京

「東京インディペンデント2019」陳列館、東京「星のごみ箱」東京藝術大学 大学会館、東京

「久米賞2019」東京藝術大学 絵画棟Yuga Gallery と立体工房、東京

2018 「藝祭2018」東京藝術大学、東京

賞/ 奨学金

2023 石橋財団国際交流油画奨学生

2022 O氏記念賞奨学金

サロン・ド・プランタン賞

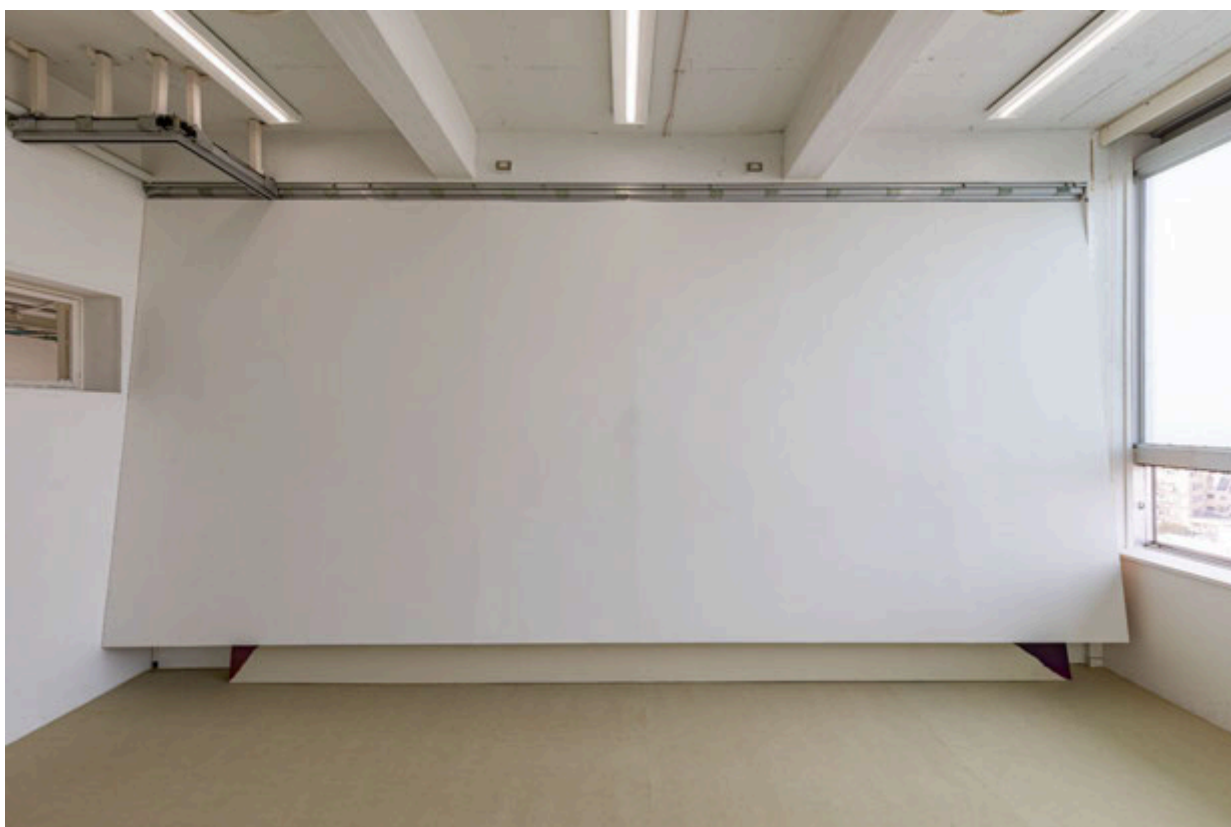
2019 久米桂一郎奨学金

2018 ダンテ伊藤賞

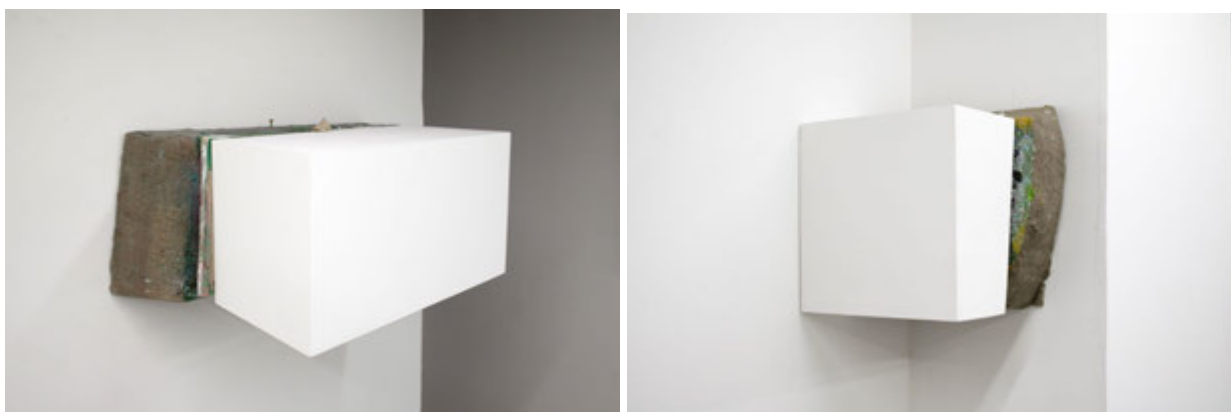
プログラム

2023 Transcultural Collaboration、チューリッヒ、台北

2018 アーツスタディ・アブロードプログラム、ミュンヘン



《イタダキ》2022 oil, canvas, wood サイズ可変 / Photo by Ujin Matsuo



左: 《Untitled》2024 oil and glitter on canvas, wood 250×486×309 mm

右: 《Untitled》2024 oil and glitter on canvas, wood 282×283×230 mm

CASHI

本件に関するお問い合わせ: info@cashi.jp

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-6-12-1F tel : 03-5825-4703 fax : 03-5825-4704

開廊時間 : 水～土 11:00～18:00

JR浅草橋駅西口より徒歩5分

JR浅草橋駅東口・都営浅草線浅草橋駅A2出口より徒歩10分

JR秋葉原駅昭和通り口・東京メトロ日比谷線秋葉原駅1番出口より徒歩10分

